

高野山巡り

大門

ここは高野山の西の入口の正門である大門/重要文化財/宝永二年(1705年)落慶











重要文化財 大門 指定 昭和40年5月29日

高野山の盆地の西端にあたり高野山の西の入口の正門である。重層の五間三戸、入母屋造、銅瓦葺の楼門。昔はここから天野、慈尊院に通ずる町石道と西高野街道が紀ノ川流域に向かった。また有田川流域に向かう道もあった。

大門は元禄元年(1688)に炎上し、宝永二年(1705)に落慶した。それが今の門である。昭和57,8,9年に解体修理された。自動車道路の開通とともに高野山の入口として再び活気を取り戻している。

Daimon, the grand gateway

Important cultural treasure

Situated at the west end of the basin of Kōyasan, it is the western entrance to Kōyasan. Roads from Kinokawa valley and Aritagawa valley met here. The gateway was reconstructed in 1705. Recently it was repaired with the opening of the motor-car road in recent time, it has got activity as an important entrance to Kōyasan.



和歌山県教育委員会・総本山金剛峯寺

だいもん
大門
(高野町)



撮影者：宮崎 主輔

大門周辺から遙か紀淡海峡や淡路島、四国が眺望できる。標高約900mの聖地から見る夕陽は、一日への感謝と明日への希望の灯として心に刻まれる。女人道沿いのお助け地藏からの眺めも絶景。

壇上伽藍(だんじょうがらん)
中門址(復元工事中)



金堂

昭和7年(1932年)完成/武田五一設計の鉄骨鉄筋コンクリート構造







根本大塔



不動堂

鎌倉時代後期建立の国宝





継破風(すぎるはふ)による庇部分の屋根が鶴が羽を拡げたような形となっている





不動堂

今年丁卯年
馬羽田正徳寺
此堂の建立は
正徳元年に
由緒不明
正徳元年に
建立されし
と傳へられ
たり

国 宝 不 動 堂

指定 昭和27年3月29日

言い伝えによれば建久八年(1197)鳥羽天皇の皇女院の御願により行勝上人がこの堂を建てたということである。鎌倉時代の和様建築であって、それ以前の住宅建築の様式を仏堂建築に応用したものである。正確な建築年代は不明であるが、仏壇の勾欄や羽目板の格狭間の形などから、鎌倉時代後期と考えられる。

内陣の後に仏壇があり、来迎柱の間に板壁をつける。屋根の勾配のゆるい檜皮葺で、平安時代の寝殿造の面影をのこす。

Fudōdō(Acala temple)

a national treasure

According to a tradition, the temple was built by Bishop Gyōshō according to the vow of princess Hachijō in 1197. Though the exact date of construction is unknown, it is supposed to date from the later Kamakura period. The altar is at the back of the inner shrine. The roof has a gentle slope. The whole building is reminiscent of the style of the residence in the Heian period.

和歌山県教育委員会・総本山金剛峯寺

吹き放ち部分と縁/庇の上に架けられた継破風が見てとれる



組物は出三斗、中備は墓股



前面の半部戸





愛染堂

天保14年(1843年)の再建



国史跡 愛染堂

指 定 昭和52年7月14日

後醍醐天皇の御願により建武元年（1334）に建設された。本尊の愛染明王は天に向かって矢を射る姿から天弓愛染明王と呼ばれる。現在の堂は、天保十四年（1843）の大火後の再建である。

Aizen-dō (Rāgarāja Hall), National Historical Site

This structure was constructed at the wish of Emperor Go-Daigo in 1334. The main deity enshrined is the wrathful deity Rāgarāja, who holds a bow pointing up as if to shoot at the sky, and so is called the Heaven-Bow Rāgarāja. The existing structure was rebuilt after the great fire of 1843

和歌山県教育委員会
(公財)高野山文化財保存会

大会堂(だいえどう)

弘化4年(1847年)の再建





三昧堂(ざんまいどう)

天保14年(1843年)の再建





国史跡 三昧堂

指 定 昭和52年7月14日

歌人西行法師が治承元年（1177）に大会堂とともに、この地に移築造営した。現在の堂は天保十四年（1843）の大火後の再建である。大会堂の前の坂を会堂坂といい、坂の東に西行法師の住坊靈山院があったと伝えられている。

Sanmai-dō (Samādhi Hall), National Historical Site

The poet Saigyō relocated and constructed this building here along with the Daiedō in 1177. The existing structure was rebuilt after the great fire of 1843. The slope in front of the Daiedō is called the Edō-saka, and it is said that to the east of the slope Saigyō lived in a temple called Ryōzan-in

和歌山県教育委員会
(公財)高野山文化財保存会

東塔

昭和58年(1983年)の再建







国史跡 東塔

指 定 昭和52年7月14日

白河法皇の御願により大治二年（1127）に落慶した。中尊は尊勝仏頂で脇仏は不動と降三世両明王である。江戸時代の再建の塔が、天保十四年（1843）に焼失後、140年を経て昭和五十八年（1983）に現在の塔が再建された。

Tōtō (Eastern Stūpa)

This pagoda was completed in 1127 at the wish of the retired Emperor Shirakawa. The main deity enshrined is Vikiraṇoṣṇīṣa, who is flanked by the two wrathful deities Acala and Trailokyavijaya. The pagoda that had been rebuilt in the Edo period burned to the ground in 1843, and the present building was reconstructed 140 years later in 1983

和歌山県教育委員会
(公財)高野山文化財保存会

鐘楼/大塔の鐘・高野四郎(こうやしろう)





手洗所



右手から東塔、三昧堂、大会堂、根本大塔



左手から愛染堂、大会堂、三昧堂、東塔



金剛峰寺



世界遺産
World Heritage



金剛峯寺

国指定史跡・世界遺産

金剛峯寺

西暦1131年(天承元年)10月17日に覚鑿上人が鳥羽上皇の許を得て大伝法院を建立、その後豊臣秀吉が亡き母公の菩提を弔うため、本食応其上人に命じて建立したことに始まります。当時は、秀吉公の母公の剃髪が納められたため、剃髮寺と名付けられたそうですが、のちにその名を青巖寺と呼び、応其上人の住坊となりました。

その後は法印御房の住坊となり栄華を誇りましたが、再三の火災によって焼失し、現在の本殿は西暦1863年(文久3年)に再建されました。西暦1868年(明治元年)に行政官から青巖寺を金剛峯寺へ改号するよう指導され、さらには隣接していた興山寺というお寺を庁舎として使用することになりました。その後、この二つのお寺は合併され、総本山金剛峯寺として現在に至っています。

金剛峯寺山門

金剛峯寺の建物の中で一番古く、西暦1593年(文禄2年)に再建されたものです。昔はこの門を正面から出入りできるのは天皇・皇族、当山の重職に限られていました。今でも一般の僧侶は、右の小さな入り口をもっぱら利用しています。

和歌山県

Kongobu-ji Temple

The monk Kakuban (1095-1143) received the permission of Emperor Toba (1103-1156) to build the Daidenbo-in temple in 1131 at this site, and later Toyotomi Hideyoshi (1537-1598) requested the monk Ogo (1536-1608) to build a temple here to pray for the repose of his mother, and some of her hair was kept here. The temple was later named Seigan-ji, and became the residence of Ogo. Later becoming the official residence of the Hoin of Koyasan, the temple has been lost in fires two or three times. The main building was reconstructed in 1868. At the advice of the Meiji government, the name was changed from Seigan-ji to Kongobu-ji. The adjoining temple of Kozan-ji was used for administrative functions, and the two temples were merged afterwards as Kongobu-ji.

The Gate of Kongobu-ji Temple

This gate is the oldest building at Kongobu-ji, and was constructed in 1593.

Wakayama Prefecture





山門/文禄二年(1593年)の再建



主殿/文久3年(1863年)の再建











鐘楼と山門



元治元年(1864年)の再建



金剛峯寺鐘樓

和歌山県指定文化財

指定 昭和四十年四月十四日

本鐘樓は、金剛峯寺の前身である青巖寺の鐘樓である。その構造形式から万延元年（一八六〇）に山上の大火で類焼後、大主殿などの建物とともに、本鐘樓も元治元年（一八六四）に再建されたものと考えられ、桁行三間、梁行二間、袴腰付入母屋造りの形式とする鐘樓である。

和歌山県教育委員会

(財)高野山文化財保存会

Belfry of Kongōbuji

Appointed the cultural treasure of Wakayama prefecture. 14 April, 40 Showa.

This is the belfry of the Seiganji monastery, the predecessor of Kongōbuji. It is supposed that it was rebuilt with the main edifice in 1st year, Gengi (1864) after the conflagration in the 1st year Man-en (1860). It is 3 kens in length, 2 kens in width. It is a belfry in the style of Irimoya with a skirt.

Education committee Wakayama ken.

Committee of the cultural treasures of Kōyasan.

金剛三昧院

この道を進むと金剛三昧院がある



ここが金剛峯寺の子院の一つである金剛三昧院/正面が多宝塔、右手が山門



山門/文政年間(1818年~1830年)の建立



金剛三昧院

源頼朝の妻政子は頼朝亡き後、入道して二位禅定如実となり、先に建てた禅定院を金剛三昧院と改称し、行勇禅師を住持とした。筑前粥田庄などの荘園を寄進してここに学問をおこした。境内に勸学院を建て秋田城介泰盛などの尽力によって高野板の密教経疏を刊行して密教学を興した。境内には国宝多宝塔、重文経蔵、四社明神、客殿等の指定建造物がある。

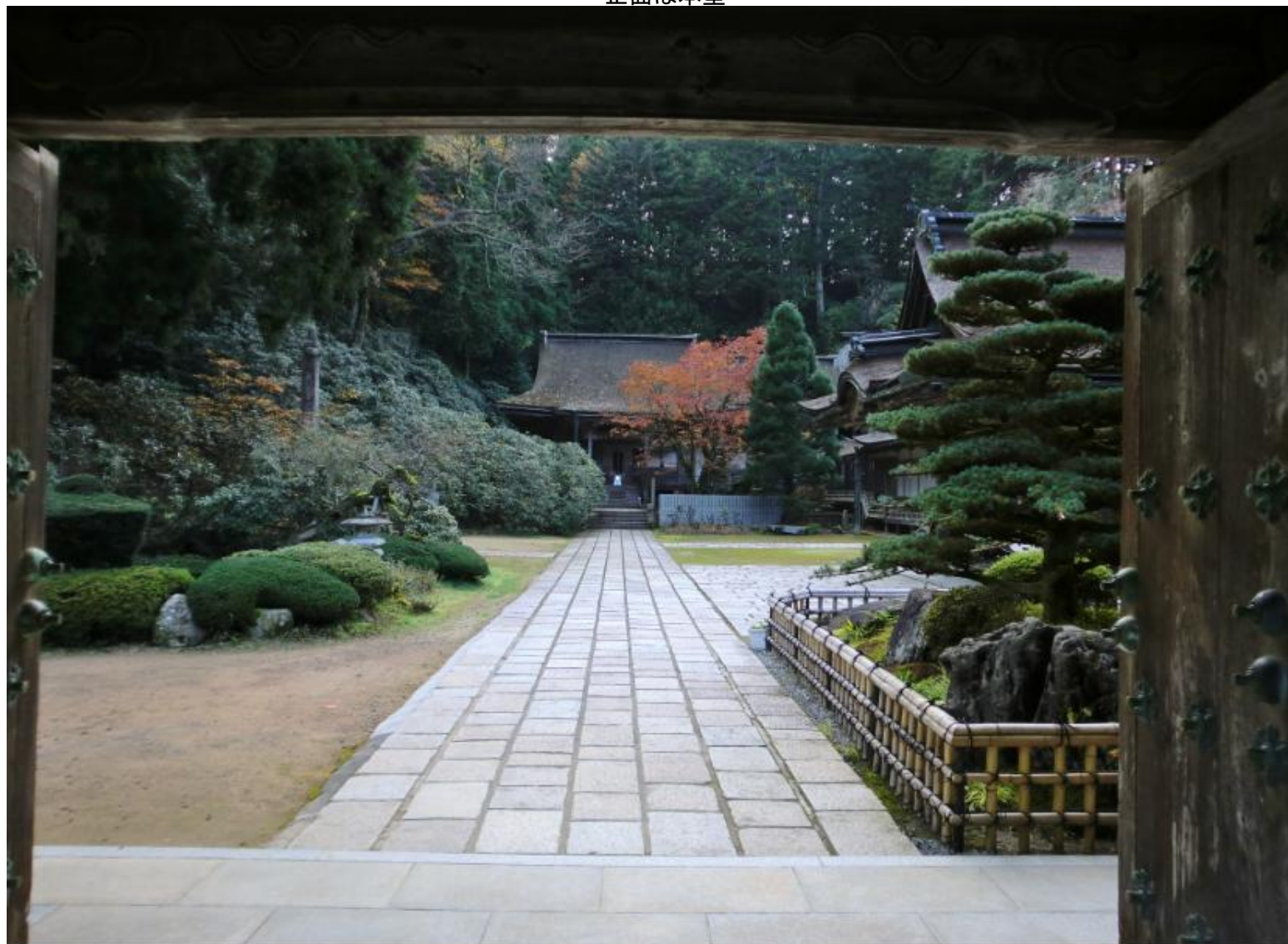
Kongô-sanmai-in Monastery

Madam Masako, wife of Yoritomo, the feudal lord, became nun Nyojitsu after the death of her husband and protected the Kongô-sanmai-in. She appointed master of Dhyana Gyôyû as the head Priest, She donated manors to the monastery and encouraged the Buddhist learning by establishing a school for learning. Yasumori, her Vassal, supplied the priests with scriptures and commentaries by means of wooden block printing called Kôya edition.



和歌山県教育委員会・(財)高野山文化財保存会

正面は本堂



山門の扉



境内から山門を見たところ



1615年から1660年頃に建てられた本坊(客殿他)/高野山内に存在する客殿建築として最古のもの/重要文化財











本堂/愛染明王が安置されている





西国愛染明王

第十七番札所 結願所
西国愛染明王霊場





これが高野山に存在する建造物の中でも最古級の金剛三昧院多宝塔/貞応二年(1223年)建立/国宝







墓股の意匠などに鎌倉時代初期の特徴が見て取れるという



世界遺産
World Heritage



こんごうさんまいいんたほうとう
金剛三昧院多宝塔

国宝・世界遺産

この多宝塔は、みなもとのよりとも さねとも みたま源頼朝、実朝の御霊を供養するため、西暦 1223 年(貞応2年)頼朝の妻北条政子によりほうじょうまさこ こんりゅう建立されました。現在、高野山に現存する最古の木造建築物で、鎌倉様式を残す数少ない建物のひとつです。

西暦 1952 年(昭和 27 年) 4 月に国宝に指定され、また、西暦 2004 年(平成 16 年) 7 月には、世界文化遺産に登録されています。

和歌山県

Kongo-sanmai-in Temple Stupa

National Treasure

This stupa was built in 1223 by Hojo Masako (1157-1225) to pray for the repose of her husband Minamoto no Yoritomo (1147-1199) and their son Sanetomo (1192-1219). It is the oldest stupa in Koyasan, and one of the few existing made in the Kamakura period style. It was designated a National Treasure in 1900 and registered as a World Cultural Heritage in 2004.

Wakayama Prefecture

下層は簡素な平三斗









四手先の組物を持つ上層部分





これは金剛三昧院経蔵/多宝塔と同時期の建立/重要文化財





世界遺産
World Heritage



こんごうさんまいいんきょうぞう
金剛三昧院経蔵

重要文化財建造物・世界遺産

日本の伝統的な倉庫の形式「^{あぜくらづく}校倉造り」で、多宝塔と同時期の^{こんりゅう}建立とされ、鎌倉時代に作られた例が少なく貴重な経蔵とされています。
また当院を中心に刊行された^{ほんど}經典高野版の版木、金剛三昧院版木（国指定重要文化財、約 500 枚）が所蔵されていました。

和歌山県

Kongo-sanmai-in Temple Kyozo

Scripture Repository

Like the stupa, this building was also built in the Kamakura period, and is a rare example of the traditional azekurazukuri style.

Wakayama Prefecture



前方は金剛三昧院の境内奥に建つ、鎮守社の四所明神社(ししよみょうじんしゃ)



世界遺産
World Heritage



こんごうさんまいいんししよみょうじんじや
金剛三昧院四所明神社本殿

重要文化財建造物・世界遺産

金剛三昧院^{けいだい}境内^{ちんじゆ}に鎮守^{まつ}として祀^{みょうじんじや}られている明神社^{みょうじんじや}で、高野、丹生、
気比^{けひ}、丹生御息^{しちゆうしや}の四柱社^{しちゆうしや}をお祀り^{いっけんやしゐかすがづくり}しています。一間社春日造^{いっけんやしゐかすがづくり}で、正面
の方位板裏面には「天文廿一年四月二日より八月造了、同廿七日遷
宮申了、良識七十一」^{すみがき}との墨書^{すみがき}があり、室町時代にあたる西暦155
2年(天文21年)^{こんりゅう}に建立^{こんりゅう}されたことがわかります。

和歌山県

Kongo-sanmai-in Temple Shisha Myojin Honden Shrine

Scripture Repository

This Shinto shrine housing the tutelary deity of Kongo-sanmai-in Temple is inscribed
with the date 1552.

Wakayama Prefecture

雨漏りをしているのかシートで覆われている



天文21年(1552年)建立/重要文化財





六時の鐘





世界遺産
World Heritage



六時の鐘

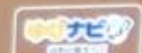
この鐘楼は、福島正則公が父母の追福菩提を祈って、西暦1618年(元和4年)に建立されたことに始まります。福島候といえ、豊臣秀吉と柴田勝家との戦いで、賤ヶ岳七本槍といわれた、豊臣家きっての勇将でした。西暦1636年(寛永12年)に、正則の子である正利によって再鑄されましたが、その鐘銘がかなまじり文であることで有名です。現在でも午前6時より午後10時まで、偶数時に時刻を知らせています。

和歌山県

Rokuji-no-Kane Bell

This bell tower was built in 1618 by the feudal lord Fukushima Masanori (1561-1624), an important retainer of Toyotomi Hideyoshi (1537-1598), in memory of his mother. The bell was recast by Masanori's son Masatoshi (1601-1638) in 1630. It is rung at even hours everyday between 6:00 AM and 10:00 PM.

Wakayama Prefecture



参考ホームページ

<https://www.koyasan.or.jp/tazuneru/sights/daniogaran.html>

<http://www.japanmystery.com/wakayama/danio.html>

<http://ameblo.jp/taishi6764/entry-11916804717.html>

<http://tabinokiroku.web.fc2.com/tabi117/117-3.html>

<http://www.kokuhoworld.com/090.html>

<http://www.obayashi.co.jp/projects/project19>

<http://www2.ocn.ne.jp/~consan/newpage1.html>

<http://kankodori.net/japaneseculture/treasure/071/>

<http://www010.upp.so-net.ne.jp/teiryu/Wk03.html>

http://homepage2.nifty.com/kys/kys.tabipho_koyasan1.htm

<http://kankodori.net/japaneseculture/treasure/070/>

<http://www.tera-tabibito.net/temple/show/130>

